

大学運営会議議事録		
開催日 及び場所	令和4年10月13日(木) 午後2時00分から午後2時34分まで 特別会議室 Web (ZOOM) 会議同時実施	
出欠状況	出席:33名 欠席:5名	
<p>1 報告事項</p> <p>(1)第36回剣祭の開催について</p> <p>(2)第26回橘花祭の開催について</p> <p>(3)地域経営研究センター「ビジネスセミナー」の開催について</p> <p>(4)第147回 ふじのくに防災学講座の開催について</p> <p>(5)令和4年度 防災訓練実施について</p> <p style="margin-left: 20px;">①草薙キャンパス</p> <p style="margin-left: 20px;">②小鹿キャンパス</p> <p>2 その他</p> <p>(1)静岡県立大学新学部設置構想検討委員会の設置について</p>		

- ・前回議事録(案)の確認

令和4年9月の大学運営会議議事録(案)について、1か所誤植訂正をする形で承認された。

1 報告事項

(1) 第36回剣祭の開催について

日時は10月29日(土)、30日(日)、時間は記載のとおりで、場所は草薙キャンパスで実施する。

大きな実施イベントは、模擬授業、お笑いライブ、スポーツフェスティバルを開催する。その他には、クラブサークルによる制作発表などに15団体が参加予定となっている。また、模擬店は36団体が出店予定である。

イベントの詳細については、記載のとおり。特に「お笑いライブ」は、過去の剣祭の歴史をたどっても初の企画であるので、是非御参加いただきたい。

感染症対策については、健康支援センター長からも助言をいただき、それを基に実行委員のメンバーがまとめたものを、案内という形でホームページに掲載する。1番の問題は、飲食についてであり、基本的には食べ歩きは禁止し、芝生園地もしくはグラウンドなどの場所を指定して飲食をしていただく。その他各企画の具体的な対策は、記載のとおり。

例年は実行委員会の企画として、薬学部や食品栄養科学部による研究室紹介を行っていたが、今年度の委員会企画としては実施しない。

(2) 第26回橘花祭の開催について

日時は11月12日(土)、13日(日)、短期大学部において、3年ぶりに対面式で開催する。

概要のとおり、12日(土)は学内関係者のみ、13日(日)が一般公開としている。日程に

については、橘祭実行委員会による話し合いの中で、3年ぶりの開催とあって、来場者の予測が難しいといったことや、過去の状況を知る学生がいないということ、さらには現在の学生は、高校生の時からコロナの影響で、高校在学中の文化祭等を経験していない学生も少なくないということから、初日を予行演習という位置付けで学内関係者のみの入場とし、2日目に一般の方を受け入れることとした。

学科展示や模擬店については、資料記載のとおり。

その他同時開催としては、複数の企画が予定されており、「後援会の講話会」が初日に実施される。さらには、看護学部の鈴木准教授を中心とした「リレー・フォー・ライフ」のイベントが開催される予定である。2日目には、同窓会主催の「ホームカミングデイ」の実施。また、こども学科からは「子育て支援ひろば」の実施、その他、入学者選抜実施委員会は「入試相談会」を実施する。

コロナ対策については、各参加団体に検温、手指消毒、飲食スペースの指定など、基本的な感染症防止対策を徹底するよう周知している。特に飲食スペースについては、パンフレットや掲示などを通じ、一般客にもわかりやすく告知する予定で調整している。また、教育棟や講堂の入口には検温器や消毒液を設置し、受付係が使用を促す。学科展示や模擬店の各会場では、入場者が密とならないよう、入室人数の調整、または一定間隔を維持した整列の指示を行う予定である。

(3) 地域経営研究センター「ビジネスセミナー」の開催について

地域経営研究センターでは毎年、地域振興に関するビジネスセミナーを開催しており、今年度は「食」で地域を元気にしよう」というテーマで、シュウマイで有名な崎陽軒の野上社長を講師に招き、講演いただく。

講演後半は崎陽軒の野上社長と、「食のまちづくり」について対談をさせていただく予定である。

日時は12月3日（土）、午後1時30分から3時50分まで。オンラインと静岡県立大学草薙キャンパスのハイブリッド開催で、受講料は無料。多くの方に御参加いただきたい。

(4) 第147回 ふじのくに防災学講座の開催について

静岡県では、「しずおか防災コンソーシアム」と連携し、毎月「ふじのくに防災学講座」を開催しているが、10月15日（土）に開催される、第147回の講座では、短期大学部 社会福祉学科 江原勝幸准教授が、「地域で支える災害時の要配慮者支援～誰一人取り残さないインクルーシブ防災活動～」というテーマで講演する。静岡県地震防災センターの会場と、Zoomの2つの方法で開催される。参加について御検討いただきたい。

(5) 令和4年度 防災訓練実施について

① 草薙キャンパス

草薙キャンパスでの防災訓練について、訓練概要は記載のとおりで、対象は草薙キャンパスの全学生、全教職員を対象に実施する。

実施日時は11月11日（金）、晴天の場合は、10時40分から12時まで、学生は11時25分までとする。雨天の場合は、10時40分から11時30分まで、学生は10時50分までの日程で

実施する。

服装や訓練内容については、記載のとおり。また、教員から学生へ説明する際の資料は、別途準備をしている。その他詳細については、担当者宛てに資料を送付する。

今回は3年ぶりに学生を含めた避難訓練を実施するという事で、今井副学長、酒井副学長には訓示をお願いする。

晴天、雨天に関する実施判断については、前日にはっきり分かる場合は前日に通知し、その他の場合には、当日の8時40分までに、全教職員宛てにメールで通知する。

中止基準については、「自然災害等による一斉休校措置のガイドライン」にのっとり、一斉休講をする場合の基準に従い、訓練の中止を決定する。

<質疑応答>

- ・「6 訓練内容」の晴天時（5）の訓練について、避難誘導を行う担当が「安全防護班」となっているが、正しくは「避難誘導班」が対応する。（説明者）
- ・「6 訓練内容」の晴天時（7）の訓示については、当初学長からお願いする予定で記載をしていたが、所用により不在となるので、酒井副学長にお願いする。（説明者）

② 小鹿キャンパス

訓練概要は記載のとおりで、本訓練は、自衛消防隊訓練と防災訓練を一緒に行うもの。

実施日時は10月27日（木）、9時から12時を予定しており、対象者は短期大学部、看護学部学生・大学院生、教職員及び常駐している業者。

令和2年度、3年度は、学生は安否情報入力訓練のみだったが、今年度は、実際に体験する訓練に参加していただく。

訓練スケジュールについては、資料記載のとおり。

避難訓練、安否確認後は、尾池学長からの御挨拶と消防署の公表をいただく。その後、順次個別訓練に入る。

自衛消防隊訓練と並行し個別訓練を行うが、訓練内容は記載のとおり。これら訓練は、静岡市駿河消防署などの御協力を得て実施する。また、今年度は初めての試みで、学生主体による訓練として、社会福祉学科の江原研究室の御協力を得て「学生による防災マップの見方」という講習会を実施する。

なお、自衛消防隊訓練に参加している教職員も、交代で個別訓練に参加していただく。

雨天時は、訓練内容を縮小して実施する。訓練の中止基準は、記載のとおり。

2 その他

(1) 静岡県立大学新学部設置構想検討委員会の設置について

保健衛生、福祉及び保育・教育学系新学部の設置に係る計画については、令和3年度から渡邊副学長をリーダーとし、Sプロジェクトで検討を行い、令和4年3月17日に開催した「教育研究組織将来計画委員会」で計画案を報告した。

Sプロジェクトでは、今年度も計画案の詳細な部分等について検討を行うとともに、設置者の静岡県と新学部の必要性について、現在は事前協議を行っている。

今後の新学部の設置計画案の作成に当たっては、短期大学部だけでは対応が難しい課題な

どがあるので、各学部、大学院及び事務局の御理解と御協力が不可欠となることから、保健衛生、福祉及び保育・教育学系新学部の設置に関する事項について、調整、検討する委員会を新たに設置したいと考えている。

具体的な「委員会設置規程」の審議は、今月の教育研究審議会で審議いただく。

委員会の位置付けについて、本委員会は「教育研究組織将来計画委員会」とは別組織で、同委員会に諮る前段階として、具体的な課題等についての調整、検討を行うワーキングチームとする。所掌事務は、保険衛生、福祉及び保育・教育学系新学部設置に係る検討・計画案の作成や、その他事項の調整に関すること。組織としては、副学長、各学部、短大部、各大学院、大学事務局、短大事務部から選任された教職員及び外部有識者で構成する。

必要に応じて、検討状況を「教育研究組織将来計画委員会」に報告する。

委員会の事務局は、短期大学部総務室及び学生室が行う。

委員会設置規程の施行は、11月1日を予定している。

以上、御理解と御協力をお願いします。

<質疑応答>

・内容は「教育研究組織将来計画委員会」では既に説明したが、現在静岡県庁とやり取りをしている。大学の中でも全体の方々に御審議いただきたいという趣旨で本委員会を設置するが、本委員会の委員長には、これまで渡邊副学長がずっと音頭を取ってくださっているので、引き続き渡邊副学長へお願いしたいと思う。

また、本件は軌道に乗るまでの日時を必要とすることから、各部局から委員をお願いするにあたり、長い目を見て、過去のことを御存知の方、かつ将来も本学に在籍している、そのような方をお願いしたいと思うので、その点を考慮して推薦いただきたい。(議長)

・本委員会の事務局は、「短期大学部総務室及び学生室」とあるが、この「学生室」は、「短期大学部 学生室」ということで良いか。(構成員)

・はい、そのとおりです。(説明者)